

学長定例記者会見要項

日 時： 令和7年3月6日（木） 11：00～11：45
場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 県内企業等の成長を牽引するコア人材を育成します！～第2期「やまがた共創塾 地域産業コア人材育成プログラム」受講者募集～
2. 農場産リンゴ使用「山形大学シードル2025」完成 ～3月13日より販売開始～
3. 「はえっぺ」で食品残渣を資源化 ～持続可能な農業と地域循環の実現～
4. 撮影時に紙焼きされた最も古い樹氷（アイスモンスター）の写真が見つかりました
～ 蔵王（1925年）・八幡平（1930年） ～

お知らせ

1. 令和7年度入学式について
2. 山形大学オープンキャンパス2025の開催について
3. 山形大学オペラ研究会 YCM によるオペラ公開リハーサル～G.F.ヘンデル《エジプトのジュリアス・シーザー》～
4. 山形大学大学院芸術・スポーツ科学コース 学生によるコンサート〈春爛漫 ～春よ来い、春が来た～〉開催のお知らせ
5. 快挙！「第6回 Minecraft カップ全国大会」で「ミドル賞」を受賞しました!!

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和7年4月10日（木） 11：00～11：45
場 所：法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（3月6日）発表

1. 県内企業等の成長を牽引するコア人材を育成します！～第2期「やまがた共創塾 地域産業コア人材育成プログラム」受講者募集～

学術研究院准教授（人文社会科学部担当）

柿崎 慎也

2. 農場産リンゴ使用「山形大学シードル 2025」完成 ～3月13日より販売開始～

農学部附属やまがたフィールド科学センター技術専門職員

佐久間 拓也

山形大学生協農学部購買書籍店店長

小島 憂也

奥羽自慢株式会社 製造部

石塚 雅英

3. 「はえっぺ」で食品残渣を資源化 ～持続可能な農業と地域循環の実現～

学術研究院准教授（農学部担当）

佐藤 智

農学研究科修士2年

バユ アンギタウィラブミ

農学研究科修士1年

ピナシンディ ウィカンダリ

農学部食料生命環境学科4年

ファリス アルディアンシャ グナワン

農学部食料生命環境学科4年

シャラ オレリア アリフ

農学部食料生命環境学科4年

ティザニア プトリ ランギサリ

4. 撮影時に紙焼きされた最も古い樹氷（アイスモンスター）の写真が見つかりました

～ 蔵王（1925年）・八幡平（1930年）～

山形大学名誉教授（環境科学） 樹氷の会 会長

柳澤 文孝

宮城県仙台市在住

佐々木 和夫

令和7年3月6日

県内企業等の成長を牽引するコア人材を育成します！ ～第2期「やまがた共創塾 地域産業コア人材育成プログラム」受講者募集～

【本件のポイント】

- 山形大学が事務局を務める「やまがた社会共創プラットフォーム」（「やまぷら」）では、山形県内の企業等を対象とした「やまがた共創塾 地域産業コア人材育成プログラム」を令和6年度に初めて実施。県内企業17社19名が受講した（右はR6.10.25開催の修了式）。
- 令和7年度は、受講生からのフィードバックを踏まえ、プログラム内容をブラッシュアップし、**第2期受講生の募集を開始する（R7.3.31まで）**。
- 産学官金医の連携組織である「やまぷら」は、本プログラムを継続的に実施し、**県内産業界で活躍していくコア人材を“オールやまがた”で育成していく**。



【概要】

本学が事務局を務める「やまぷら」では、**文部科学省補正予算「地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業」に2年連続で採択**され、県内リカレント教育の実態・ニーズ調査、評価指標・環境促進指針の作成、経営者マインドセットの醸成等の事業を行い、今年度は、その一環として組織や事業の成長を牽引していくコア人材の育成を希望する山形県内の企業・団体を対象に「**やまがた共創塾 地域産業コア人材育成プログラム**」を開講し、**県内企業 17 社 19 名が受講**しました。

令和7年度は、今期プログラムにおける課題や受講生からのフィードバックを踏まえ、**講師陣に(株)山形銀行の佐藤英司頭取や西川町の菅野大志町長を迎え**するとともに**財務シミュレーションや実地企業研修を追加**するなど内容をブラッシュアップした上で、**第2期プログラムを開講**します。

産学官金医の連携で全国屈指の総合型地域連携型プラットフォームである「やまぷら」は、本プログラムを継続的に実施して、**県内産業界で活躍していくコア人材を“オールやまがた”で育成**してまいります。

【プログラム概要】＜詳細は別添「募集要項」をご参照ください＞

- 履修期間：令和7年5月9日（金）開講、令和7年10月24日（金）修了予定
- 受講料：25万円 ※厚生労働省「人材開発支援助成金」助成制度あり（例：受講費用の45%助成等）
- 開講場所：山形大学小白川キャンパス ※一部実地研修あり
- 受講形態：対面
- 講義時間：計67時間
- 募集定員30名
- 応募方法：WEB応募フォームから申し込み
- 応募締切：令和7年3月31日（月）



（お問い合わせ）

国立大学法人山形大学 総務部総務課 社会共創推進事務局 樋口、石澤

（やまがた社会共創プラットフォーム事務局）

TEL 023-628-4615 メール yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

やまがた共創塾 地域産業コア人材 育成プログラム

Core Human Resources Development Program for Regional Industry

令和 7 年度 受講者募集要項

＼ 昨年度プログラムの様子はこちら！／

(約 1 分 40 秒)



企業・団体の中核として組織や事業の成長を牽引していくコア人材の育成を後押しします。

少子高齢化や人口減など様々な地域課題があるなか、山形県にとって継続的な産業人材の育成が喫緊の課題となっています。これらの課題を解決し、地域経済や産業の活力を維持・向上させていくため、各企業・団体の中核として組織や事業の成長を牽引していくコア人材を育成する教育プログラムが必要とされています。

本プログラムは、やまがた社会共創プラットフォームにおけるリカレント教育として山形大学が企画・運営する、産学官金連携による人材育成プログラムです。プログラム修了者には、山形大学の『地域産業コア人材育成プログラム修了証』を授与します。

プログラムの特長

1

地域産業の ニーズに応えた カスタムメイドプログラム

企業等団体・個人へのアンケート及びヒアリング結果に基づき、そのニーズに応える内容で構成された教育プログラムです。産学官金から多数の実務家講師が授業を担当いたします。

2

経営シミュレーション などに重点を置いた 実践的な講義

多くの優良企業の研修にも採用されているシミュレーション教材を使用します。経営視点を持って意思決定する体験を通し、コア人材としての実践力を身につけることができます。

3

5ヶ月・67時間の インターバル型 リカレント教育

隔週金曜日（一部土曜日）に開講する5ヶ月・67時間の教育プログラムです。時間をかけて体系的に学ぶことで、コア人材に必要な力を着実に身につけることができます。

対象者

組織や事業の成長を牽引していくコア人材の育成を希望する企業・団体。

中堅層・プレマネジメント層・管理者層におすすめ。

※業種は問いません。公務員の方の参加も歓迎。

コア人材育成のイメージ



第1期生（2024年度）の声

- ・経営シミュレーションを実践してみて、経営に必要な知識・考え方・戦略が重要になってくること、5年、10年先を見据えた会社経営が必要と感じました。(Aさん・30代)
- ・時代にマッチする条件を自組織の状況と世の中の情勢を鑑みながら判断し、リーダー像の在り方について学ぶことができました。(Bさん・40代)
- ・普段の仕事ではかかわることが少ない様々な業種の方々とディスカッションし、多様な考え方を学ぶことができ大変刺激を受けた5か月間でした。これからの自分の大きな財産になったと感じております。(Cさん・40代)

1 オリエンテーション

本プログラムの流れと期待について説明を行う。また受講者は事前にアセスメントを受け、自身の強みを理解しておき、それを自己紹介に使う。基調講演として山形銀行佐藤頭取が講演。
(※受講者の所属企業の経営者または、担当役員も参加可)

2 組織経営、リーダーシップ、ハラスメント対応

組織経営のあり方は環境変化と経営戦略に従う。組織経営を「人と組織と社会」の視点から再検討し、その実現のために必要なリーダーシップを探る。また、日常の職場運営をハラスメント対応の視点から考える。

3 ヒューマンリソース開発、チームビルディング

チームの個々人とそのつながりに焦点をあて、個人とチームの活性化と成長のポイントをつかむ。それぞれの個性やもち味を活かす「人と人」「仕事と働き方」の組み合わせを探り、強くて成果をあげるチームづくりのポイントを自職場で実践する。

4 課題発見から始める価値創出のヒント

成熟した時代にあって、目に見えるニーズの多くは既に満たされ、市場は飽和している。そこで新たな価値を生み出すには、顧客が抱える課題を発見し、その解決策を提示する必要がある。そのプロセスにおける考え方やヒントを学ぶ。

5 財務分析、財務シミュレーション

財務三表を理解し、事業活動の「何」が財務に影響するかについて財務シミュレーション教材を使い学ぶ。また、自分の本業での役割が自社の財務でどのように影響するかも理解する。

6-7 経営シミュレーション① 事業戦略構築、事業計画、意思決定、資金調達

製造業（自動車）の経営をチーム対抗で行う。経験や知識をフル活用して、シミュレーション上の会社経営を行う。またこの体験からの学びをどのように本業での役割につなげることができるかも振り返る。

8 修了生との交流授業

第1期生による実践報告を行い、実際の現場での経験や成果を共有する。パネルディスカッションでは様々な悩みや疑問を深掘りし、参加者全員で考察を深める。特別講演として西川町菅野町長が講演。
(※講義終了後は、1期生、2期生交流会を開催する)

9 経営の実例に学ぶ

現地企業視察を通じて実際の経営課題を学び、社長講演で経営戦略やリーダーシップについて直接話を聞く。その後のディスカッションでは、学んだ内容を自社にどのように活かせるかを深掘りし、実践的な知識を習得する。

10-11 経営シミュレーション② 顧客獲得戦略、人的リソース最適化、プロジェクト管理、事業効率（財務観点）

架空の会社を運営してみる。戦略を策定し、戦略に合致する顧客獲得を行い、且つ顧客にフィットする人材の採用と業務指示を行う。顧客と人材は他社から狙われることもあり、攻めの経営だけでなく守りについても考えることが重要。この学びをどのように本業での役割につなげることができるかも振り返る。

12 事業運営においての追加要素およびDX 概論・演習

事業実行に伴い、これまで様々な経営因子を学んできた。ここでは、「マーケティング」に内包される「プライシング」「市場把握」などの競合対策を含め自社のUSPを見極め注力するために戦略思考及び、人的導入の難しさからオペレーション改革を実行しDX戦略に繋げていく。業務の棚卸・サプライチェーンの見直しの概念を学ぶ。

13 ケーススタディー 現実の事例について議論し、自社への応用につなげる

ある企業での実例を使い、その理由・原因を探り対応のポイントを見出す。その内容を自社に応用する為の目標とアクションプランを作成し、まず人に働きかける行動で成果を生みだす実習を行なう。

14 学びの総括・クロージング・修了式・懇親会

学びのポイントの振り返り。「学んだこと」と「学びを明日からどのように活かすか」について各自事前に資料を作成しそれに基づき発表する。また発表内容について質疑応答を経ることにより、学びをできるだけ記憶に残せるようにする。

(※受講者の所属企業の経営者または、担当役員も参加可)

プログラム概要

履修期間

5ヶ月間

令和7年 5月 9日（金）開講
令和7年10月24日（金）修了 予定

受講料

25万円

※納付いただいた受講料は返付できません。
※7/4、7/25、7/26、8/22、9/12、9/13の
昼食代を含んでおります。

開講場所

山形大学 小白川キャンパス

※8/22は、実地研修となります。

受講形式

対面形式

講義時間

計67時間（全14回）

原則金曜日及び土曜日に開講

修了要件

以下の要件を満たすこと

- (1) 全時間数のうち8割の出席
- (2) 各講義ごとに提出する課題の点数が
合格ラインであること

応募資格

高等学校卒業者等の大学入学資格を有している方

募集定員

30名（一企業・団体から複数名の受講可能）

※最低開講人数は10名です。申込者多数の場合は選考を行うことがあります。また、人数に達しない場合は実施できない可能性があります。

応募方法

- (1) WEB応募フォームからお申し込みください。
- (2) 受講料の納付については別途ご案内いたします。

応募締切

令和7年 3月31日（月）



WEB申込は
こちらから

<https://forms.office.com/r/GEth0zMsqH>



講師陣



山形大学 副学長・教授

OMORI Katsura

大森 桂

1 オリエンテーション

14 学びの総括、発表・質疑応答



山形大学 准教授

SUGAOI Tatsuhito

菅生 達仁

1 オリエンテーション

5 財務分析、財務シミュレーション

6・7 経営シミュレーション①

10・11 経営シミュレーション②

14 学びの総括、発表・質疑応答



株式会社山形銀行 取締役頭取

SATOU Eiji

佐藤 英司

1 基調講演



ライフマナーサポート 代表

KANAZAWA Nobuo

金沢 信雄

2 組織経営、リーダーシップ、ハラスメント対応

3 ヒューマンリソース開発、チームビルディング

13 ケーススタディ



日本政策金融公庫総合研究所 副所長

FUJII Tatsunori

藤井 辰紀

4 課題発見から始まる価値創出のヒント



西川町 町長

KANNO Daishi

菅野 大志

8 特別講演



株式会社ダイユー 代表取締役社長

YAKUWA Takeshi

八鍬 毅

9 経営の実例に学ぶ



有限会社舟形マッシュルーム 代表取締役会長

NAGASAWA Mitsuyoshi

長澤 光芳

9 経営の実例に学ぶ



東北芸術工科大学 教授

SEKI yoshiki

関 良樹

12 事業運営においての追加要素およびDX概論・演習

※プログラム内容は現在検討中であり、変更になる可能性があります。

開講スケジュール

回	授業日	受講形式	開始	終了	時数 (h)	講義内容・テーマ	講師等
1	5月 9日 (金)	対面	14:00	17:00	3	オリエンテーション 基調講演：山形銀行 佐藤 英司 頭取	やまがた共創塾 塾長 大森 桂
2	5月23日 (金)	対面	13:00	17:00	4	組織経営 リーダーシップ ハラスメント対応	ライフマナーサポート 代表 金沢 信雄
3	6月 6日 (金)	対面	13:00	17:00	4	ヒューマンリソース開発 チームビルディング	ライフマナーサポート 代表 金沢 信雄
4	6月20日 (金)	対面	14:00	17:00	3	課題発見から始める価値創出のヒント	日本政策金融公庫総合研究所 副所長 藤井 辰紀
5	7月 4日 (金)	対面	9:00	17:00	7	財務分析 財務シミュレーション	山形大学 准教授 菅生 達仁
6	7月25日 (金)	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション① 事業戦略構築、事業計画、意思決定、資金調達	山形大学 准教授 菅生 達仁
7	7月26日 (土)	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション① 事業戦略構築、事業計画、意思決定、資金調達	山形大学 准教授 菅生 達仁
8	8月 8日 (金)	対面	14:00 17:30	17:00 19:00	3	特別講演：西川町 菅野 大志 町長 1期生実践報告、パネルディスカッション 講義終了後、交流会（1期生、2期生）	進行 運営事務局
9	8月22日 (金)	対面	10:00	16:00	5	経営の実例に学ぶ【実地研修】 現地研修：舟形マッシュルーム・ダイユー現地視察、 社長講演、ディスカッション	株式会社ダイユー 代表取締役社長 八楯 毅 有限会社舟形マッシュルーム 代表取締役会長 長澤 光芳
10	9月12日 (金)	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション② 顧客獲得戦略、人的リソース最適化、プロジェクト管理、 事業効率（財務観点）	山形大学 准教授 菅生 達仁
11	9月13日 (土)	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション② 顧客獲得戦略、人的リソース最適化、プロジェクト管理、 事業効率（財務観点）	山形大学 准教授 菅生 達仁
12	9月26日 (金)	対面	14:00	17:00	3	事業運営における 追加要素およびDX概論・演習	東北芸術工科大学 教授 関 良樹
13	10月10日 (金)	対面	13:00	17:00	4	ケーススタディ 現実の事例について議論し、自社への応用につなげる	ライフマナーサポート 代表 金沢 信雄
14	10月24日 (金)	対面	14:00	17:00	3	学びの総括、発表・質疑応答	やまがた共創塾 塾長 大森 桂
			17:30	19:30		修了式、懇親会	山形大学 准教授 菅生 達仁

人材開発支援助成金のご案内

企業が従業員に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って受講させた場合、厚生労働省より「人材開発支援助成金」の支援が受けられます。

【助成内容】

- ・人材育成訓練受講経費の助成 45% (中小企業の場合)
- ・人材育成訓練受講期間中の賃金の助成 1 時間 760 円 (中小企業の場合)

※助成額は事業規模等によって企業ごとに異なります。

【支給条件】

- ・従業員に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って実施する企業
- ・時間数のうち 8 割以上の出席

【受講前手続き】

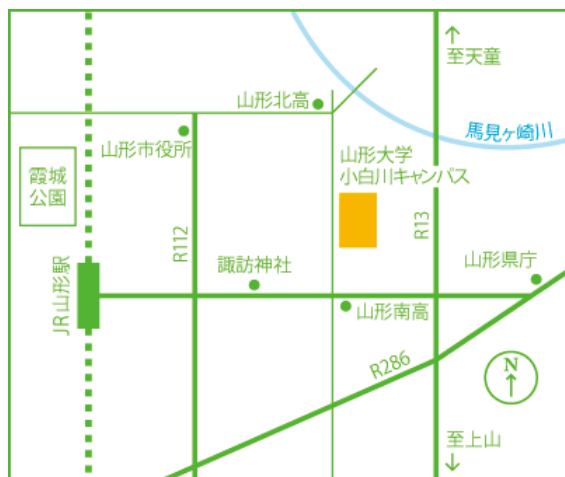
開講日の 1 ヶ月前までに『職業訓練実施計画届』、その他必要な書類を労働局へ提出

[令和 7 年 1 月 31 日現在]

申込期日：令和 7 年 4 月 9 日 (水)

詳細は労働局までお問い合わせください

アクセスマップ



小白川キャンパス

地域産業コア人材育成プログラムは、山形大学小白川キャンパス内での開講を予定しております。
※一部、実地研修あり

JR 山形駅から

- 東方へ約 2.5km (徒歩約 30 分)
- ベニちゃんバス「東くるりん 東原町先回りコース」で「山大前」下車 (所要時間約 9 分)
- 市内路線バス「県庁前・県庁北口」行きで「南高前・山大入口」下車 (所要時間約 6 分)、そこから徒歩約 7 分

お問い合わせ

山形大学 総務部総務課 社会共創推進事務室
(やまがた共創塾 地域産業コア人材育成プログラム 事務局)

MAIL : yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

TEL : 023-628-4615

〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目 4-12 (法人本部棟)



やまがた社会共創
プラットフォーム



山形リカレド教育アカデミー
Yamagata Recurrent Education Academy



PRESS RELEASE

令和7年(2025年)3月6日

農場産リンゴ使用「山形大学シードル2025」完成

～3月13日より販売開始～

【本件のポイント】

- 農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門(高坂農場)で生産しているリンゴを原料に使用した山形大学シードルが完成した。
- 2023年に続き3回目となり、生産は高坂農場、醸造はHOCCA WINERY(山形県鶴岡市)、企画・販売は山形大学生協同組合の3者協業となった。
- 姉妹品の「純米大吟醸燦樹」とあわせ、売上の一部を学生への支援に活用する。



【概要】

2021年に発生した凍霜害および雹(ひょう)害によって、多くの加工用リンゴが生じたことを契機に、これらのリンゴをリンゴジュースとして生協店舗で販売しました。この取り組みをきっかけに、高坂農場と山形大学生協でリンゴを活用した商品開発について協議を重ね、2023年に奥羽自慢株式会社様に醸造を依頼し、シードルとして販売を開始しました。今年で3年目を迎え、さらなる改良を加えた新商品「山形大学シードル2025」を、お土産需要の高まる時期に合わせてリリースいたします。

今回のシードルでは、食用として定番の「ふじ」「紅玉」「王林」に加え、主に調理・加工用の「グラニースミス」や、受粉樹に成る「ワルツ」「ポルカ」も活用しています。受粉樹はリンゴ栽培において結実を確保するために植えられるもので、その果実は通常、生食には適しませんが、シードルに深みと奥行きのある味わいをもたらすため、今回も使用しました。

【山形大学シードル2025の概要】

醸造本数：合計約900本(アルコール度数 7%)

価格：375ml瓶入り1本1,430円(税込)

- ・ 小白川・飯田・米沢・鶴岡の各キャンパス内にある山形大学生協の店舗での直接購入が可能です。
- ・ 通信販売の場合、生協ホームページ(<https://www.yamagata-u-coop.or.jp/>)を通じて組合員向けに販売を行います。

原料：高坂農場産リンゴ100%使用(ふじ、紅玉、王林、グラニースミス、ワルツ、ポルカ)

醸造元：HOCCA WINERY(奥羽自慢株式会社 山形県鶴岡市上山添神明前123)

※2023年7月発売以降3回目。オリジナルシードルのほかに日本酒も取り組んでいます。

【学生の関わる商品づくり】

栽培には高坂農場に出入りする農学部学生が関わり、リンゴの着色管理のための葉摘み・玉回しや、醸造前の洗浄作業を山形大学生から構成される生協学生委員会 OH,ONE!?(オーワン)部員が体験しました。

ラベルデザインは、具志堅裕介講師(地域教育文化学部主担当)協力のもと、地域教育文化学科文化創成コース4年早水京華さんが製作したものを使用いたしました。

【売り上げの一部を学生支援に活用】

本年完売した場合には売り上げの一部から11万円を「山形大学基金」等に寄附いたします。

寄付贈呈式は、毎年7月下旬頃に実施しています。

参考：昨年 <https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/fund/information/20240801/>

お問い合わせ

企画について：農学部購買書籍店 小島 Ojima.Yuya@univ.coop

販売・取材について：小白川コンビニ店 Ciel(シエル) 遠藤

TEL 023-641-8662 メール Endo.Risa@univ.coop

令和 7 年（2025 年） 3 月 6 日

「はえっぺ」で食品残渣を資源化 ～持続可能な農業と地域循環の実現～

【本件のポイント】

- 食品残渣を活用した循環型農業の実現**：鶴岡市立荘内病院、山形大学農学部生協、鶴岡市学校給食センターの食品残渣をアメリカミズアブに食べさせ、そのフラスを100%活用した有機肥料「はえっぺ」を開発。
- 山形県立庄内農業高等学校の生徒による実証試験で効果を確認**：庄内農業高校の生徒が里芋やタマネギの試験栽培を実施し、化学肥料と同等の生育促進効果と土壌中の生物多様性向上を確認。
- 地域資源の循環と持続可能な農業への貢献**：試験栽培した里芋は荘内病院へ、タマネギは鶴岡市学校給食センターへ寄贈し、食材として再活用。地域全体で資源循環型農業の仕組みの構築を模索。



【概要】

山形大学農学部ヤマダイミズアブラボは、鶴岡市立荘内病院、山形大学農学部生協、鶴岡市学校給食センターから発生する食品残渣をアメリカミズアブの幼虫に食べさせ、その排泄物（フラス）を 100%活用した有機肥料「はえっぺ」を開発しました。本肥料の実証試験は庄内農業高校が担当し、里芋やタマネギの試験栽培を実施。その結果、「はえっぺ」は化学肥料に近い作物生育の促進効果を持つことに加え、農地の生物多様性を促進する効果も確認されました。さらに、栽培された里芋は荘内病院へ、タマネギは鶴岡市学校給食センターへと寄贈され、食材として再活用されています。現在、有機肥料「はえっぺ」（195ml 入り）を山形大学農学部生協店舗で試験販売する予定です。地域資源の循環と持続可能な農業の実現に向け、さらなる取り組みが進んでいます。なお、有機肥料「はえっぺ」のネーミングは、庄内農業高校食料生産科の仲川 晃生（なかがわ こうせい）さんが、ラベルデザインは同じく食料生産科の庄司 心優（しょうじ みひろ）さんが担当しました。

【背景】

食品廃棄物の削減と資源循環は、持続可能な社会の実現に不可欠である。ヤマダイミズアブプロジェクト（2021 年～）では、荘内病院、山形大学農学部生協、鶴岡市学校給食センターの食品残渣をアメリカミズアブで分解し、100%有機肥料「はえっぺ」を開発。地域の農業と食の循環を促進している。

【研究手法・研究成果】

「はえっぺ」は山形大学農学部ヤマダイミズアブラボで製造。食品残渣回収を荘内病院（週 1 回）、生協（平日毎日）にて行い、特に農学部生協購買部 Vert の食品残渣はほぼ 100%資源化（3 年半以上継続）している。庄内農業高校の生徒が実証試験を実施し、化学肥料と同等の生育促進効果を確認。「はえっぺ」施用区では、ゴミムシ類などの益虫が増加、土壌微生物の多様性向上が示唆された。栽培した里芋は荘内病院、タマネギは鶴岡市学校給食センターへ寄贈し、資源循環を実現。これらの作物は他機関の協力のもと食味・品質なども分析中。「はえっぺ」は 195ml 入りで同大学生協店舗にて 3 月 6 日から試験販売を行う予定。

【今後の展望】

今後は生産・供給体制を強化し、地域内外へ普及を拡大。試験栽培体制を強化し、多様な作物での効果を検証するとともに、販路開拓やブランド化を推進。また、ネット販売を視野に流通経路を拡大する。さらに、各種食品残渣や家畜排せつ物などを活用した様々な「はえっぺ」の開発を進め、持続可能な農業の確立を目指す。

※用語解説

1. アメリカミズアブ：ハエ目の昆虫。北海道を除く広範囲に生息。刺さない。
2. フラス：アメリカミズアブ幼虫のフン

お問い合わせ

学術研究院准教授 佐藤 智（ヤマダイミズアブ応用生態学）/農学部担当
メール satorus@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

令和7年（2025年）3月6日

撮影時に紙焼きされた最も古い樹氷（アイスモンスター）の写真が見つかりました

～ 蔵王（1925年）・八幡平（1930年）～

【本件のポイント】

●鉄道省仙台鉄道局にお勤めであった佐々木龍夫氏の写真帳から、蔵王・八幡平について、撮影時に紙焼きされたもので最も古い樹氷（アイスモンスター）の写真が見つかりました。蔵王は大正14年（1925年）、八幡平は昭和5年（1930年）です。



蔵王山刈田岳パラダイス
大正14年（1925年）2月

【概要】

過冷却水滴と雪がオオシラビソ上で一体化したものを樹氷（アイスモンスター）とよびます。現在、樹氷は八甲田・八幡平・森吉・蔵王・吾妻のみで見られます。鉄道省仙台鉄道局にお勤めであった佐々木龍夫氏の写真帳から、蔵王・八幡平について、撮影時に紙焼きされたもので最も古い樹氷の写真が見つかりました。蔵王は大正14年（1925年）、八幡平は昭和5年（1930年）です。

【これまでの経緯】

樹氷（アイスモンスター）は過冷却水滴と雪がオオシラビソ上で一体化して氷の塊となったものです。かつては北海道から長野県や石川県まで存在しましたが、現在では八甲田・八幡平・森吉・蔵王・吾妻のみで見られます。

さて、書籍などの印刷物に掲載された樹氷の写真で最も古いものは大正10年（1921年）1月8日に慶応大学山岳部が蔵王を宮城県から山形県に踏破された際に撮影されたものです。次いで古い写真は、大正12年（1923年）3月に第一高等学校が五色温泉で行ったスキー合宿の際に吾妻連峰家形山で撮影されたものです。蔵王・吾妻以外では昭和4年～7年（1929年～1932年）に発行された絵葉書や旅行案内書が最も古いものです。一方、撮影当時に紙焼きされた写真で最も古いものは昭和4年（1929年）4月に吉野絵葉書店店主の佐藤定男氏によって撮影されたものでした。

今回、佐々木和夫氏が保有されている、ご尊父様である佐々木龍夫氏の写真帳から蔵王・八幡平について撮影時に紙焼きされたもので最も古い樹氷の写真が見つかりました。なお、写真帳には撮影場所年代不明の写真が多数添付されています。写真の裏面に情報が記載されていることから、別の写真が見つかる可能性が残っています。



(お問合せ先)

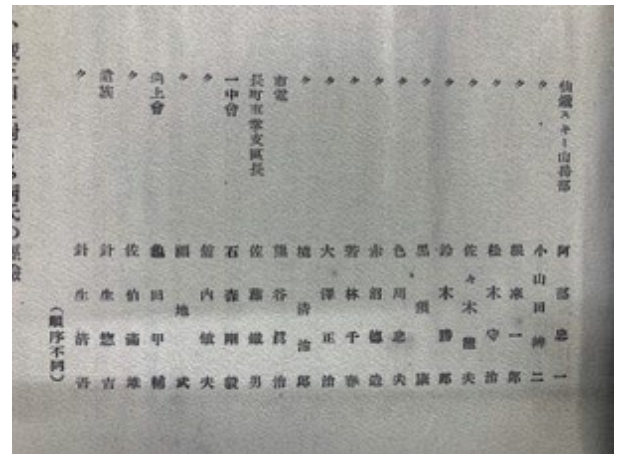
柳澤文孝 (環境科学) 山形大学名誉教授 樹氷の会会長

メイル icemonster.white(at)gmail.com

佐々木和夫 (宮城県仙台市)

【佐々木龍夫氏について】

佐々木龍夫氏は明治37年(1904年)栃木県でお生まれになりました。旧制仙台一中を卒業後、大正11年(1922年)に鉄道省仙台鉄道局にお入りになり、宮城・福島・青森などに赴任され、昭和33年(1958年)仙台駅長を最後に退職されました。在職中は仙台鉄道局スキー山岳部で活躍され、定年後は個人で四季を通じて東北など各地の山に足を運ばれて、自ら写真を撮影されたり、写真を集められました。



【蔵王山】

● 大正14年（1925年）2月 蔵王山刈田岳パラダイス（注）



注：かつて刈田岳付近はパラダイスとよばれていました（赤丸 地図：昭和17年 安齋徹著 樹氷～東北の山と溪～ p31）。現在のパラダイスゲレンデとは異なります。



【八幡平】

昭和5年（1930年）3月 八幡平より岩手山を望む



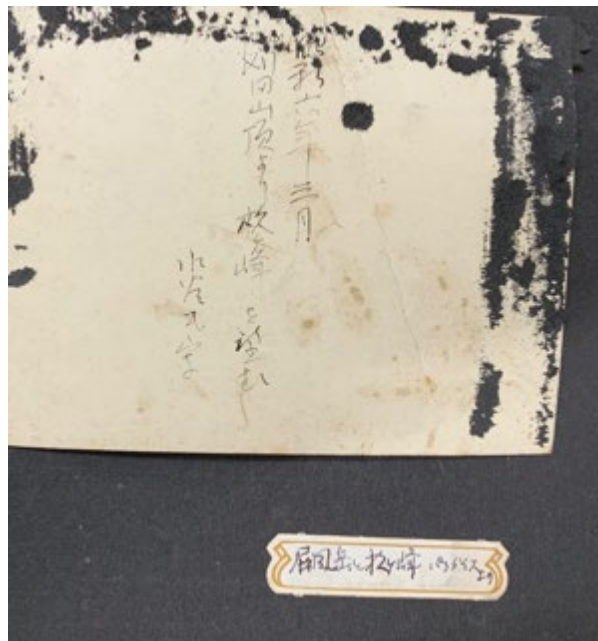
【八幡平】

昭和5年（1930年）3月 八幡平 畚（もっこ）岳



【蔵王山】

●昭和6年（1931年）3月 蔵王山刈田岳のパラダイスより屏風岳と杉ヶ峰を望む



【蔵王山】

●昭和8年（1933年）2月 蔵王山より東大顛を遠望



表 樹氷の写真一覧 (青色が今回)

和暦	西暦	撮影場所	撮影者・代表者・所有者	原本	学長定例記者会見 年月日 *1 環境保全 年巻ページ *2
大正10年1月8日	1921年1月8日	蔵王 (宮城)	鹿子木員信 (慶応大学山岳部)	登高行 3年 口絵など (慶応大学山岳部 大正10年6月10日出版)	2018年 21巻 p47-50
大正12年	1923年	吾妻山 家形山	第一高等学校山岳部	向陵誌 p1522 「家形山山頂の雪景」 (第一高等学校 大正14年12月1日出版)	記者会見 2023年7月6日
大正14年2月	1925年2月	蔵王	佐々木龍夫	紙焼き	記者会見 2025年3月6日
昭和4年?	1929年?	蔵王 (宮城)	仙台鉄道局?	東北のスキー場 昭和5年版 p2 「蔵王スキー場」 (仙台鉄道局 昭和4年12月1日出版)	2013年 16巻 p15-22
昭和4年?	1929年?	蔵王 (宮城)	仙台鉄道局?	スキーへ p27 「蔵王山の樹氷」 (鉄道省 昭和5年12月23日出版) [注1]	2013年 16巻 p15-22
昭和4年2月12日	1929年2月12日	蔵王 (山形)	安斎徹	紙焼き (昭和6年に仙台鉄道局から出版された陸奥曲に添付されていることから、撮影は昭和4年だが、プリントは昭和6年である)	2014年 17巻 p41-48
昭和4年4月	1929年4月	蔵王 (山形)	佐藤定男 (吉野家絵葉書店主人)	紙焼き	2021年 24巻 p82-83
昭和4年?	1929年?	菅平 根子岳	菅平ホテル	菅平ホテル (昭和5年竣工) のパンフレット	2013年 16巻 p46-47
昭和4年?	1929年?	蔵王 (宮城)	武田久吉・濱田 (田邊) 和雄	日本地理大系 別巻 p98 「冬の杉ヶ峰」 (改造社 昭和5年6月15日出版) [注2]	2021年 24巻 p77-81
昭和5年?	1930年?	蔵王 (宮城)	鉄道省	鉄道旅行案内 p406 「蔵王スキー場の樹氷」 (鉄道省 昭和5年3月出版)	—
昭和5年3月	1930年3月	八幡平	佐々木龍夫	紙焼き	記者会見 2025年3月6日
昭和6年3月	1931年3月	蔵王	佐々木龍夫	紙焼き	記者会見 2025年3月6日
昭和7年以前	1932年以前	吾妻・巖々温泉・青根温泉・上の山・志賀高原・菅平・八幡平・定山溪	?	絵葉書 ([さかはえ]と記載されていることから昭和7年以前の発行である)	2022年 25巻 p85-100
昭和8年2月	1933年2月	蔵王	佐々木龍夫	紙焼き	記者会見 2025年3月6日
昭和8年3月20日	1933年	蔵王 (山形)	長澤壽三 (利彦)	紙焼き	2014年 17巻 p115-116
昭和8年3月20日	1933年	蔵王 (山形)	長澤壽三 (利彦)	紙焼き	2013年 16巻 p30-37
昭和8年3月20日	1933年	蔵王 (山形)	角田吉夫	高山深谷 第37圖 「蔵王三寶荒神山の樹氷」 (梓書房 日本山岳会編 昭和8年6月出版)	2013年 16巻 p30-37
昭和8年?	1933年?	蔵王 (山形)	川上壽雄・中川新・宮川恒夫	スキー地案内 口絵など (三省堂 昭和8年12月6日出版)	—
昭和9年1月28日	1934年	菅平 根子岳	長澤壽三 (利彦)	紙焼き	2013年 16巻 p46-49
昭和10年3月15日	1935年	蔵王 (山形)	長澤壽三 (利彦)	紙焼き	2013年 16巻 p38-45

*1 <https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/press/>*2 http://sci.kj.yamagata-u.ac.jp/~zao/juhyou_tantei.html

[注1] 蝦夷富士の樹氷・家形山の樹氷と記載の写真がありますが、アイスマンスターとは判定できませんでした

[注2] 日本地理大系 (奥羽編) に、八甲田山の樹氷と記載の写真がありますが、アイスマンスターと判定できませんでした

令和7年(2025年)3月6日
山形大学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 令和7年度入学式について

令和7年度山形大学入学式をやまぎん県民ホール（山形市）及び附属学校園において挙行いたします。取材の際は、式典の円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。

2. 山形大学オープンキャンパス 2025 の開催について

山形大学オープンキャンパス 2025 の開催予定日が決定しました。

●開催日・キャンパス

2025年7月26日（土）・小白川キャンパス：人文社会科学部・地域教育文化学部※・理学部・
社会共創デジタル学環

2025年7月26日（土）・飯田キャンパス：医学部

2025年8月2日（土）・米沢キャンパス：工学部

2025年7月27日（日）・鶴岡キャンパス：農学部

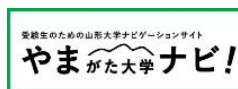
※地域教育文化学部は、2026年4月に教育学部への改組を構想しています。

●詳細・申込

決まり次第、本学受験生向けナビゲーションサイト「やまがた大学ナビ！」でお知らせします。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/oc/>

「やまがた大学ナビ！」では、常時、オンデマンド配信しているコンテンツもありますので、ぜひご覧ください。



3. 山形大学オペラ研究会 YCM によるオペラ公開リハーサル～G.F.ヘンデル《エジプトのジュリアス・シーザー》～

山形大学オペラ研究会 YCM は、地域教育文化学部文化創生コースと大学院社会創造文化研究科で音楽を学ぶ学生により構成されています。YCM では毎年3月にオペラを上演してまいりました。今回の演目はバロック音楽の巨匠 G.F.ヘンデルの《エジプトのジュリアス・シーザー》。今回初の試みとして、本公演に先立ち、前日に公開リハーサルを開催いたします。

【公開リハーサル】日 時：2025年3月14日（金） 13：30 開演（14：00 開場）

【本 公 演】日 時：2025年3月15日（土） 13：30 開演（14：00 開場）

会 場：山形大学 文化ホール（小白川キャンパス内） 入場料：無料

主 催：山形大学オペラ研究会 YCM 共 催：健康と学びのサポートセンター

4. 山形大学大学院芸術・スポーツ科学コース 学生によるコンサート〈春爛漫 ～春よ来い、春が来た～〉開催のお知らせ

本学大学院社会文化創造研究科芸術・スポーツ科学コースでは、これまで地域のみなさまに向けたキャンパスコンサートや、学生の地元で行うふるさとコンサートを開催してまいりました。このコンサートは厳しい冬の寒さが続く中、みなさまと共に音楽に触れながらあたたかなひとときを過ごしたいという思いから企画した初の試みとなります。

山形大学大学院 音楽芸術プログラムによるコンサート〈春爛漫 ～春よ来い、春が来た～〉

日 時：2025年3月30日（日） 14:00 開演（13:30 開場）

開 場：山形大学文化ホール（小白川キャンパス内） 入場料：無料

主 催：山形大学大学院社会文化創造研究科芸術・スポーツ科学コース
 〈春爛漫 ～春よ来い、春が来た～〉実行委員会
 協 力：健康と学びのサポートセンター
 企画・監修：佐川馨
 出 演 者：小野凜香、原田奏、青山千紘、渋谷穂香、鈴木渚、渡邊佳恵
 プログラム：松任谷由実/春よ来い

別宮貞雄/さくら横ちょう

F.リスト/愛の夢第3番

サン=サーンス/動物の謝肉祭 《朗読付き》

岡野貞一/春が来た

ほか ※曲目は変更になる場合がございます。

5. 快挙！「第6回 Minecraft カップ全国大会」で「ミドル賞」を受賞しました!!

山形大学「ヤマガタシステムアカデミー」のマスターコースの受講生が、「第6回 Minecraft カップ全国大会2024」の「まちづくり部門」において、小学6年生以下の部で最優秀に相当する「ミドル賞」を受賞しました。

令和7年（2025年）3月 6日

令和7年度山形大学入学式について

【本件のポイント】

- 各会場では、係員の指示に従っていただき、式典の円滑な進行にご協力をお願いいたします。
- 学長告辞については当日に配付いたしますが、式終了後に公表願います。
- 事前の取材申し込みは不要です。

【概要】

令和7年度山形大学入学式をやまぎん県民ホール（山形市）及び附属学校園において、下記のとおり挙行いたします。式当日の取材に際しては、各会場における留意事項を遵守の上、式進行の妨げとなるような行為は慎んでいただき、円滑な進行にご協力をお願いいたします。

また、学長告辞については当日に配付いたしますが、式終了後に公表願います。

【山形大学入学式】

日 時：令和7年4月4日(金)

会 場：やまぎん県民ホール（山形市双葉町1-2-38）

※第1部、第2部ともに報道機関へ公開させていただきます。

※会場の収容人数の都合上、父母等の列席は新入生1名につき1名に制限させていただきます。

※入学式の間、やまぎん県民ホール隣の山形テルサ（山形市双葉町1-2-3）にて、お待ちいただくことができます。山形テルサの開場時間は、式典会場と同じく式典開始1時間前です。

（第1部）11：00～12：00（開場10：00）

医学部・工学部

医学系研究科・理工学研究科（工学系）・有機材料システム研究科

（第2部）14：00～15：00（開場13：00）

人文社会科学部・地域教育文化学部・理学部・農学部・社会共創デジタル学環

社会文化創造研究科・理工学研究科（理学系）・農学研究科・教育実践研究科・養護教諭特別別科

（式次第）1.開式のことば

2.山形大学 大学歌斉唱

3.学長告辞

4.入学生宣誓

5.学長・副学長等紹介

6.閉式のことば

備 考：式典終了後、引き続き以下のとおり予定しております。

・全学オリエンテーション

・歓迎セレモニー（四面楚歌による花笠踊り披露）

【山形大学附属学校園入園・入学式】

附属幼稚園

日 時：令和7年4月10日（木）10：00～／場 所：附属幼稚園遊戯室

附属小学校

日 時：令和7年4月 8日（火） 9：55～／場 所：附属小学校体育館

附属中学校

日 時：令和7年4月 5日（土）13：30～／場 所：附属中学校体育館

附属特別支援学校

日 時：令和7年4月10日（木）10：30～／場 所：附属特別支援学校体育館

お問い合わせ

総務部総務課 TEL 023-628-4006、4004

令和7年（2025年）3月6日

山形大学オープンキャンパス2025の開催について

【本件のポイント】

- 山形大学オープンキャンパス2025の開催予定日が決定しました。
- 2025年度のオープンキャンパスは、いずれのキャンパスも対面での開催を予定しています。
- 原則として、事前の参加申し込みが必要となります。また、一部のキャンパス・プログラムについては、運営上の理由から人数制限を設ける場合があります。

【概要】

山形大学オープンキャンパス 2025 の開催予定日をお知らせします。いずれも対面での開催を予定しています。原則として事前の参加申し込みが必要となります。また、一部のキャンパス・プログラムについては、運営上の理由から人数制限を設ける場合があります。

詳細については決定次第、本学の受験生向けサイト「やまがた大学ナビ！」のオープンキャンパスページで順次お知らせしていきます。

過去には学部学科説明や模擬講義、キャンパスツアー、在学生との交流会、研究室見学、父母等向け説明会等、様々な内容のイベントを実施しています。

【山形大学オープンキャンパス 2025】

●開催日・キャンパス

人文社会科学部	2025 年 7 月 26 日（土）	小白川キャンパス
地域教育文化学部※	2025 年 7 月 26 日（土）	小白川キャンパス
理学部	2025 年 7 月 26 日（土）	小白川キャンパス
社会共創デジタル学環	2025 年 7 月 26 日（土）	小白川キャンパス
医学部	2025 年 7 月 26 日（土）	飯田キャンパス
工学部	2025 年 8 月 2 日（土）	米沢キャンパス
農学部	2025 年 7 月 27 日（日）	鶴岡キャンパス



※地域教育文化学部は、2026 年 4 月に教育学部への改組を構想しています。

●詳細・申込

決まり次第、本学受験生向けナビゲーションサイト「やまがた大学ナビ！」でお知らせします。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/oc/>

「やまがた大学ナビ！」では、常時、オンデマンド配信しているコンテンツもありますので、ぜひご覧ください。

受験生のための山形大学ナビゲーションサイト
やまがた大学ナビ！

お問い合わせ

エンロールメント・マネジメント部入試課

TEL 023-628-4062・4063

メール yu-enroll@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和7年（2025年）3月6日

山形大学オペラ研究会YCMによるオペラ公開リハーサル ～G.F.ヘンデル 《エジプトのジュリアス・シーザー》～

【本件のポイント】

- 山形大学オペラ研究会YCMの初の試みである「公開リハーサル」を本番前日に開催
- 普段は見ることのできない本番前の最後の音楽づくりを少しリラックスした雰囲気地域のみなさまに体験していただく貴重な機会
- 《エジプトのジュリアス・シーザー》はバロック音楽の作曲家G.F.ヘンデル（1685～1759）の金字塔的作品

【概要】

山形大学オペラ研究会 YCM は、地域教育文化学部文化創生コースと大学院社会創造文化研究科で音楽を学ぶ学生により構成されています。YCM では毎年3月にオペラを上演してまいりました。今回の演目はバロック音楽の巨匠G.F.ヘンデルの《エジプトのジュリアス・シーザー》。舞台は古代エジプト。エジプト遠征をしたローマの将軍ジュリアス・シーザーの、クレオパトラやその弟トロメオなどとの関わりを描いた物語です。今回初の試みとして、3月15日（土）の本公演に先立ち、前日14日（金）に公開リハーサルを開催いたします。本番に向けて舞台をつくりあげていく過程や、本学教員の指導風景を、地域のみなさまにもご覧いただきたく企画いたしました。オペラをもっと身近に感じていただく絶好の機会となります。



【開催情報】

G.F.ヘンデル作曲オペラ 全3幕字幕付きイタリア語上演

《 Julius Caesar エジプトのジュリアス・シーザー 》

【公開リハーサル】

日 時：2025年3月14日（金）
13：30 開演（14：00 開場）

【本公演】

日 時：2025年3月15日（土）
13：30 開演（14：00 開場）

会 場：山形大学 文化ホール
（小白川キャンパス内）

入場料：無料

主 催：山形大学オペラ研究会 YCM

共 催：健康と学びのサポートセンター

演 出：深瀬 廉(本学教員)

指 揮：渡辺 修身(本学教員)／小坂 泰輝／石谷 脩悟

ピアノ：加藤 澄華／渋谷 穂香／鈴木 渚／吉田 紫乃

ジュリアス・シーザー：阿部 花音

クレオパトラ：小野 凜香／田口 優実

セスト：武田 明子／竹内 遥風

コルネーリア：菅原 幸奈

トロメオ：馬場 翔夏

ニレーノ：田中 優羽

アキッラ：古玉 稟果

※本事業は山形大学校友会の支援事業です。

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

お問い合わせ

学術研究院准教授（地域教育文化学部主担当）深瀬 廉

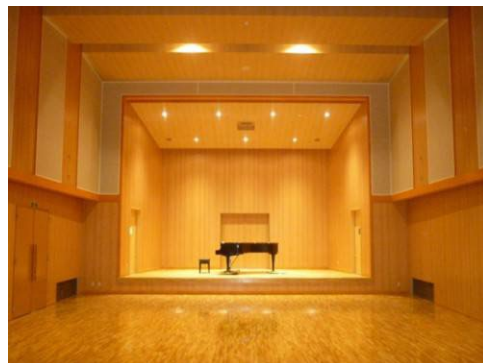
TEL 023-628-4330 メール fukaseren@e.yamagata-u.ac.jp

令和7年（2025年）3月6日

山形大学大学院芸術・スポーツ科学コース 学生によるコンサート 〈 春爛漫 ～春よ来い、春が来た～ 〉 開催のお知らせ

【本件のポイント】

- 山形大学大学院社会文化創造研究科で音楽を学ぶ学生が出演するコンサート
- 地域のみなさまとともに音楽に触れながらあたたかなひとときを過ごしたいという思いから企画した初の試み
- 「春よ来い」という呼びかけに始まり、ご来場のみなさまも演奏者も「春が来た」と心の底からあたたかさを感じるようなプログラム



【概要】

本学大学院社会文化創造研究科芸術・スポーツ科学コースでは、これまで地域のみなさまに向けたキャンパスコンサートや、学生の地元で行うふるさとコンサートを開催してまいりました。

このコンサートは厳しい冬の寒さが続く中、みなさまと共に音楽に触れながらあたたかなひとときを過ごしたいという思いから企画した初の試みとなります。

「春よ来い」という呼びかけに始まり、演奏者もご来場のみなさまも「春が来た」と心の底からあたたかさを感じることのできるプログラムとなっております。出演者一同、心を込めて演奏いたします。

【開催情報】

山形大学大学院 音楽芸術プログラムによるコンサート 〈 春爛漫 ～春よ来い、春が来た～ 〉

日 時：2025年3月30日（日） 14:00 開演（13:30 開場）

開 場：山形大学文化ホール（小白川キャンパス内）

入 場 料：無料

主 催：山形大学大学院社会文化創造研究科芸術・スポーツ科学コース
〈 春爛漫 ～春よ来い、春が来た～ 〉 実行委員会

協 力：健康と学びのサポートセンター

企画・監修：佐川馨

出 演 者：小野凜香、原田奏、青山千紘、渋谷穂香、鈴木渚、渡邊佳恵

プログラム：松任谷由実/春よ来い

別宮貞雄/さくら横ちょう

F.リスト/愛の夢第3番

サン＝サーンス/動物の謝肉祭《朗読付き》

岡野貞一/春が来た

ほか ※曲目は変更になる場合がございます。

お問い合わせ

山形大学大学院社会文化創造研究科 芸術・スポーツ科学コース

〈 春爛漫 ～春よ来い、春が来た～ 〉 実行委員会

メール：haruranman0330@gmail.com

令和7年（2025年）3月6日

快挙！「第6回Minecraftカップ全国大会」で 「ミドル賞」を受賞しました!!

【本件のポイント】

- ヤマガタSTEMアカデミー マスターコース の受講生が、「第6回Minecraftカップ全国大会2024」において「ミドル賞」を受賞しました。
- まちづくり部門に応募された379作品の中から最終審査に進んだ28作品に選出され、ファイナルで「ミドル賞」を受賞

【概要】

山形大学「ヤマガタSTEMアカデミー」の マスターコース の受講生が、「第 6 回 Minecraft カップ全国大会 2024」の「まちづくり部門」において、小学 6 年生以下の部で最優秀に相当する「ミドル賞」を受賞しました。大会は、2 月 16 日（日）に大阪府で開催されました。今回のテーマは「Well-being をデザインしよう」。「楽しい未来のために今の自分は何ができるか？」を、マインクラフトの世界で表現します。エントリー総数は 15,000 人以上で、作品は 2 部門合わせて 774 点（たてもの部門 395 点、まちづくり部門 379 点）がエントリー。その中から、まちづくり部門の最終審査には 14 ブロックから 28 チームが選ばれました。

受賞したのは、山形大学附属小学校 5 年生の井田吉信さんと井田吉春さんの双子の兄弟（チーム名「R.O.E プロジェクト」）です。彼らが制作した「R.O.E city Recycling-oriented environmental city ～循環型環境都市～」は、まちづくり部門に応募された 379 作品の中から最終審査に進んだ 28 作品に選出され、ファイナルで「ミドル賞」を受賞しました。ワールドは、SDGs を全て達成した世界になっていて、飢餓、貧困問題、物価高についても取り組んでいます。作品には、ヤマガタSTEMアカデミーの講座で学んだ燃料電池などを活用した独自のシステムが組み込まれ、オリジナリティあふれる循環型環境都市に仕上がっていました。会場は、今年 4 月に開幕する大阪・関西万博に先駆け、建設中の会場を臨める「おおさか ATC グリーンエコプラザ」でした。聞くとところによると、お二人は夏休みのほとんどを作品制作に打ち込んだとのこと。



※Minecraft について

ブロックを組み合わせて作られた世界を冒険し、一から自分だけの世界を作り上げる、目的や縛りのない自由なゲームです。土・木・石などすべてがブロックで作られた世界で、ブロックをこわしたり、組み合わせて道具を作ったりできます。教育的効果があるコンテンツとして注目され、教材としても利用されています。

※大会の様子は YouTube で配信されています。 <https://www.youtube.com/watch?v=Ri0xFNgKans>

井田さんのプレゼンの様子は 1 時間 20 分付近、表彰の様子は 6 時間 27 分付近です。

※ヤマガタSTEM（STEM）アカデミー

持続可能でよりよい社会（SDGs*）を目指すために必要な科学技術（STEM）を理解し、人類の未来に役立つ産業を生み出す、想像力豊かな理系人材を育成する教育プログラムです。理科・算数・数学が好きな小・中学生の科学的思考力や論理的思考力、情報活用能力を伸ばすプログラムを、山形大学と連携機関が提供します。受講料は無料です。次年度には、受講生から選抜された 10 名が第 2 段階（ドクターコース）へと進み、自分の興味のある研究テーマについて研究を行います。 <https://ysacademy.kj.yamagata-u.ac.jp/>

<お問合せ>

山形大学 ヤマガタSTEMアカデミー事務局
TEL 023-628-4517（SCITAセンター内）
E-mail ysacademy@sci.kj.yamagata-u.ac.jp